

## 令和4年度 国語科教員授業研修会（兼 新任授業研修会）研修活動報告

1. 日 時 令和4年11月2日（水） 13:25 ～ 16:00
2. 会 場 学校法人沼津精華学園 沼津中央高等学校
3. 研修テーマ 観点別評価を見据えた新科目指導の工夫
4. 参加者 国語科教員、国語科新任教員(1～5年目)等 20名
5. 日 程
  - 13:25～13:35 開会式 部会長挨拶 オイスカ浜松国際高等学校 校長 鬼石貞治 先生  
会場校校長 沼津中央高等学校 校長 鈴木照彦 先生
  - 13:45～14:35 研究授業  
(5限) 授業者：庄司祐貴 先生 クラス：16HR  
授業内容 「無彩の色」 港 千尋 (『現代の国語』第一学習社)  
観点別評価を見据えた体験を通しての評論文読解
  - 14:45～15:15 研究協議（反省会・講評）
  - 15:15～15:45 講演会「観点別評価を見据えた新科目指導の工夫」  
講師 静岡県総合教育センター 総合支援部  
高等学校支援課 高校第1班 教育主査 佐野博己 先生
  - 15:45～16:00 諸連絡・アンケート記入・解散

### 6. 参加者からの意見・感想

#### <研究事業>

- ・自らの授業を振り返る良い機会となった。また、同年代の先生方の意見を聞き、良い刺激になった。引き続き勉強していこうと思った。
- ・授業での ICT ツールの活用方法が参考になった。
- ・授業の進め方（板書、ノート取り、プロジェクターの活用）のバランスが良く、参考になった。
- ・先生と生徒の空気感を感じることができた。授業者の感性が新鮮に感じられた。
- ・生徒が消極的にならないような声掛け等、学習活動に対するハードルの下げ方が参考になった。

#### <講演会>

- ・新学習指導要領の解釈について理解を深めることができた。授業づくりの方向性が見えた。
- ・生徒の資質、能力を高めるための工夫を考えていかなければいけないと改めて感じた。
- ・「主体性」の評価の仕方についての助言、具体例が参考になった。
- ・これからの学習指導のあるべき姿に向けて、より一層の努力が必要だと感じた。
- ・観点別評価については悩むことが多いため、他校での具体例がもう少し聞けるとよかった。